

学校教育高度化センター関連事業（イノベーション科研）

「社会に生きる学力形成を目指したカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」の概要

小玉重夫（センター長・教育学研究科 教授）

0. はじめに

学校教育高度化センターは、昨年度より3年間にわたって「社会に生きる学力形成を目指したカリキュラム・イノベーションの理論的・実践的研究」（科学研究費 基盤研究A 代表：小玉重夫）において中心的な役割を果たしている。本研究には連携研究者も含め27名（2012年8月現在）の研究者が関わっている。以下、本研究の概要について述べる。

1. 研究の目的

従来の教科カリキュラムは、大きく見れば大学（アカデミズム）における学問体系を高校・中学・小学校へとおろしていくように構成されていた。こうしたカリキュラムは、職業や政治経済を中心とする市民社会生活との関連（社会的レリバンズ）を欠くという問題点はもたらしている。「ゆとりか詰め込みか」といった二者択一的な指導観から脱却を図り、社会的レリバンズを有する学力観へと転換を図る必要がある（図1）。

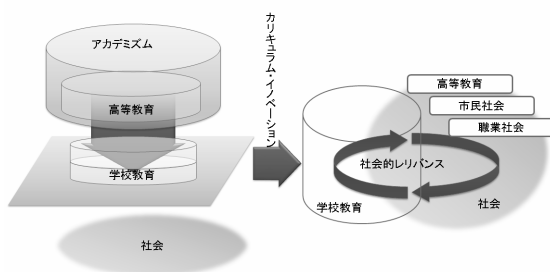


図1 研究の概念図

本研究では、以上の背景を踏まえて、戦後型社会の構造転換を踏まえた公教育の新しい方向性を探り、理論面と実践面から検討を加える。最終的な目的は、次の学習指導要領およびその後を視野に入れたカリキュラム・イノベーション（革新）の可能性と条件を探ることである。

2. 研究組織と方法

こうした目的を達成するために、図2に示すような「基幹学習ユニット」「生き方の学習ユニット」「社会参加の学習ユニット」の3つのユニットを設け、理論的な検討を進める。さらに、東京大学教育学部附属中等教育学校との連携を中軸にすえ、研究代表者及び研究分担者が関与している他の学校や自治体との連携も含めた共同研究を組織し、学校づくりや教育行政の改革も視野にいれて具体的な実践の在り方を探求する。これらを可能にするための組織として、上記の3つのユニットに加えて総括ユニットを設け、附属学校等の実践現場とを架橋するプラットフォーム的役割を持たせる。

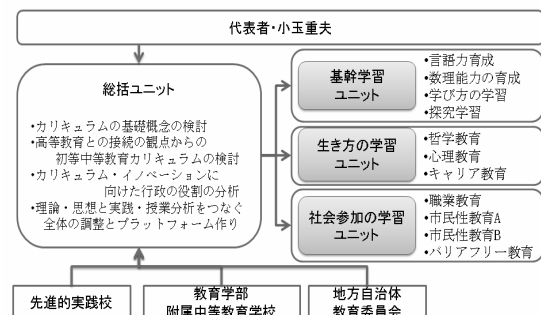


図2 研究組織図

3. 各ユニットの構成メンバー

いるメンバーを表1に挙げる（2012年8月現在）。

上記に述べたように、本プロジェクトは4つのユニットから構成されている。各ユニットに参加して

表1 各ユニットの構成メンバー（2012. 8月現在）

研究代表者	小玉 重夫	東京大学・大学院教育学研究科・教授
ユニット1	「総括ユニット」 【研究分担者】 大桃 敏行 小玉 重夫 南風原 朝和 今井 康雄 両角 亜希子 河野 麻沙美 植阪 友理 【連携研究者】 佐藤 学	東京大学・大学院教育学研究科・教授（ユニットリーダー） 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・講師 東京大学・海洋教育促進センター・特任講師 東京大学・大学院教育学研究科・助教 学習院大学・文学部教育学科・教授
ユニット2	「基幹学習ユニット」 【研究分担者】 市川 伸一 秋田 喜代美 根本 彰 藤村 宣之 【連携研究者】 斎藤 兆史 藤江 康彦 濱田 秀行	東京大学・大学院教育学研究科・教授（ユニットリーダー） 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・准教授 群馬大教育学部・准教授
ユニット3	「生き方の学習ユニット」 【研究分担者】 田中 智志 金森 修 下山 晴彦 中釜 洋子 今井 康雄 高橋 美保	東京大学・大学院教育学研究科・教授（ユニットリーダー） 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・准教授
ユニット4	「社会参加の学習ユニット」 【研究分担者】 小玉 重夫 白石 さや 川本 隆史 牧野 篤 本田 由紀 星加 良司 【連携研究者】 片山 勝茂 小国 喜弘	東京大学・大学院教育学研究科・教授（ユニットリーダー） 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・教授 東京大学・大学院教育学研究科・講師 東京大学・大学院教育学研究科・准教授 東京大学・大学院教育学研究科・准教授

イノベーション科研 2012年度 メンバー一覧表 2012. 10. 20現在

区分	番号	研究科教員	タイトル	附属学校教員
A	6	高橋美保	ライフキャリア教育の可能性の検討—社会的レジリエンスを高めるために	石橋 (数・進・5) 佐藤 (副・数) 西脇 (数・進) 對比地 (理・生・2) 小澤 (芸・研・6) 浅川 (体・研・2)
	10	星加良司・白石さや・中邑賢龍・飯野由里子・近藤武夫、他	共生の作法と技法を育てる学習プログラムの開発 (仮)	勝亦 (国・司・6) 井口 (体・生・4) 植府 (家・総・5) 松村 (英・進・1)
	11	本田由紀	教育の職業的意義	田邊 (理・生・4) 沖浜 (英・研) 長嶋 (情・進・2) 廣井 (養・生・6) 米原 (養・総・3)
B	12	両角亜希子	中等教育と高等教育の接続	佐藤 (副・数) 西脇 (数・進) 米原 (養・総・3) 葛城 (英・生)
C	1	秋田喜代美・斎藤兆史・藤江康彦	中等教育段階における文法指導に関するカリキュラムと指導法に関する調査研究	浅香 (国・広・2) 梅原 (国・教・3) 江頭 (国・研・1) 大井 (国・広・1) 勝亦 (国・司・6) 田宮 (国・教・5) 沖浜 (英・研) 越智 (英・研・5) 三浦 (英・進・3)
	4	川本隆史・小玉重夫・片山勝茂・金森修	シティズンシップ教育のカリキュラム開発	武田 (社・生・1) 野崎 (社・進・6) 橋本 (社・教・4) 村野 (社・広・2) 小松 (理・教) 小澤 (芸・研・6) 成合 (体・生・5) 松村 (英・進・2) 江頭 (国・研・1)
	9	藤村宣之	数理能力の育成プロジェクト	石橋 (数・進・5) 佐藤 (副・数) 高橋 (数・6) 西脇 (数・進) 細矢 (数・教・1) 今野 (数・生・2) 加藤 (理・研・5) 長嶋 (情・進・2) 峯岸 (情・研・3) 廣井 (養・生・6) 西島 (数・進・4)
D	2	市川伸一・植阪友理	メタ学習プロジェクト①: 総合的な学習の時間を活用した学び方の学習と支援	武田 (社・生・1) 今野 (数・生・2) 佐藤 (副・数) 小松 (理・教) 西島 (数・進・4) 對比地 (理・生・2)
	3	植阪友理・市川伸一	メタ学習プロジェクト②: 教科教育における協同を活用した学び方の学習と支援	
	5	下山晴彦	学校現場における予防的心理教育授業に関する研究	大井 (国・広・1) 石橋 (数・進・5) 高橋 (数・6) 浅川 (体・研・2) 成合 (体・生・5) 福島 (体・教・3)
	8	根本彰・白石さや	効果的な探究型学習の進め方と学校図書館の関係についての研究	勝亦 (国・司・6) 前田 (理・生・3) 志賀 (音・総・1) 井上 (家・総・4) 植府 (家・総・5) 長嶋 (情・進・2) 千葉 (英・教・6)
E	13	大桃敏行	中等教育学校における総合的な学習のあり方	梅原 (国・教・3) 江頭 (国・研・1) 勝亦 (国・司・6) 今野 (数・生・2) 西脇 (数・進) 前田 (理・生・3) 峯岸 (情・研・3) 植府 (家・総・5) 井口 (体・生・4) 松村 (英・進・1) 戸上 (英・広・4)